

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	各種廃棄物についてゴミの分別を行い、特に大型の廃棄物については関係業者の指示に従い、環境に悪影響を及ぼさない形で廃棄処理を行っている。											○	○		○				
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	当社の電力使用状況を定期的に集計・把握し、また、経済産業省からのエネルギー使用量調査にも的確に対応するなどにより、エネルギー利用の効率化を進めている。							○						○					
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	当社トラックの燃費に関する数値データを集計・検証し、燃費向上による環境負荷低減などにより、温室効果ガス排出削減に取り組んでいる。							○					○	○					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	業務上使用する有機溶剤について、管理状況を常時確認・把握し、最小限で適切な使用に努めている。			○			○					○	○						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	配送時の燃費向上や省エネ推進などにより、生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう会社全体で対応している。						○										○		
16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	水道や電源のある箇所に節水・節電を促すステッカーを貼付し、不必要な水や電気の抑制に努めている。						○												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	以前取得した「グリーン経営認証」の理念を継承し、燃費向上や省エネなどの取り組みを継続している。			○			○	○					○	○	○	○			
18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	環境問題を重要課題として位置づける「環境方針」を定め、ホームページで公表の上、推進している。												○						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	当社営業倉庫の屋上に大規模な太陽光発電設備を導入しており、より積極的な利用を検討している。							○						○					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	当社施設(トラック、倉庫設備など)・購入物品等について、より長く大事に使うよう、SDGs強化週間等の取り組みを通して社員への啓発を続けている。また、現在、コピー用紙の裏面を出来るだけ活用したり、社用書類のweb化を図っていくなどにより、紙資源の有効活用や利用削減を進めている。												○	○	○	○			
21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	ゴミ箱を分けてゴミを分別出来るようにしており、また使わなくなった備品類の再利用も積極的に実施している。						○						○	○	○	○	○		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	会社の経営理念として「事業の公益的使命を自覚」するよう社員に周知し、ホームページでも掲げている。																		○
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	会社の経営理念として「社会人としての地位の向上を図り社会に貢献」するよう社員に周知し、ホームページでも掲げている。																		○
24	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	法令にのっとり、知的財産保護に取り組んでいる。									○	○								
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	プライバシーポリシーや個人情報保護規程にのっとり、個人情報保護に取り組んでいる。																		○
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	紛争鉱物に該当する物品は一切取り扱っておらず、今後も必ず取り扱わないよう注意していく。																		○
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会	【予定】今後、お客様など関係者との間で、倫理面での適切な対応などについて認識共有・協調を図っていく。					○			○		○		○	○	○	○	○	○	○
28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	毎週必ず「部門長会議」を行い、毎月「安全委員会」も行き、社内での安全確保に向けた対策を継続している。			○										○					

